



議会だより

# かたしな

発行 片品村議会

No. 165

2020. 7. 20



日光白根山山開き

## 主 な 内 容

◆ 第2回臨時会で決まったこと .....	2
◆ 副議長、各委員会の役員が決まったこと .....	2 ~ 3
◆ 第3回定例会（6月議会）で決まったこと .....	4
◆ 一般質問 .....	5 ~ 6
◆ 常任委員会 .....	7 ~ 8
◆ 議決一覧・提言書提出 .....	9
◆ 議会活動 .....	10

令和2年

# 第2回臨時会で決まったこと

令和2年第2回片品村議会臨時会を4月22日に開催しました。執行部からは「一般会計補正予算」  
「専決処分の報告」等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

## 令和2年第2回臨時会補正予算

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計(第1号)	3,423,000	44,980	3,467,980

## 主な一般会計補正内容

(単位：千円)

歳入		
基金繰入金	財政調整基金繰入金	44,980
歳出		
総務費	総務管理費	44,980



## 専決処分の報告

- ☆片品村税条例の一部を改正する条例
- ☆片品村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ☆片品村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

この度、議員各位のご推挙により副議長に就任することになりました。身に余る光栄で、ご厚情に対し、心からお礼申し上げます。

今、片品村は人口減少や後継者不足、新型コロナウイルスなど身に迫る重要な問題が山積しており、議会も村民の負託に応えるべき責務は大変重いように思われます。

このような時期に私が副議長として議長の補佐の重責を全うできるか、心中密かに不安を感じておりますが、皆様のご協力を得まして最善の努力を尽くしてまいります。

これからも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 副議長 あいさつ



片品村議会副議長  
千 明 勉



## 総務文教常任委員会

=就任のあいさつ=

この度、6月定例会におきまして、委員各位のご推挙を頂き、総務文教委員長に就任いたしました。

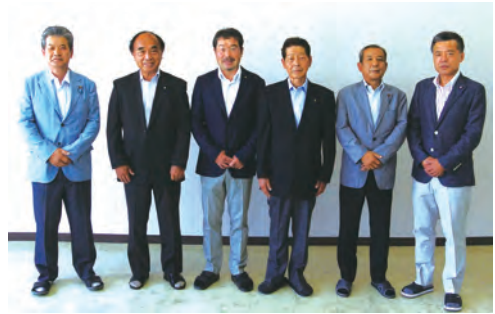
新型コロナウイルス感染の拡大防止の非常事態宣言も全面解除になりましたが、依然として特に観光面が厳しい状態が続いているような状態です。

これから1年間、当局、執行部、所管の皆様のご指導を仰ぎ、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員長 狩野 一郎)

◎鹿野 一郎  
星野 栄二

○狩野 孝夫 飯塚 美明  
後藤 眞平 千明 勉



## 観光産業常任委員会

=就任のあいさつ=

6月定例会に於きまして、委員各位のご推挙をいただき観光産業常任委員長に就任いたしました。

片品村民に有益な施策の実現に向け、委員6名一体となり頑張っております。

村民皆様のご指導と御協力を宜しくお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

(委員長 星野 吉弥)

◎星野 吉弥  
高山 悦夫

○北澤 佳子 千明 道太  
萩原 正信 萩原 和典



## 議会運営委員会

=就任のあいさつ=

この度、6月議会定例会におきまして、委員各位のご推挙をいただき、議会運営委員長に就任いたしました。

少雪などの影響による観光客の減少や新型コロナウイルスの感染予防対策など、大変な時代を迎えておりますが、円滑な議会運営と活発な議会活動を心掛けて参りますので、村民、皆様の温かいご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。(委員長 高山 悦夫)

◎高山 悦夫  
星野 吉弥

○飯塚 美明 鹿野 一郎  
狩野 孝夫 北澤 佳子



## 議会広報編集特別委員会

=就任のあいさつ=

年4回発行の「議会だより」を1年間担当させていただきます。より分かりやすい紙面となるよう6名のメンバーで編集、発行に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

(委員長 萩原 和典)

◎萩原 和典  
千明 勉

○後藤 眞平 千明 道太  
星野 吉弥 鹿野 一郎



6月定例会で決まったこと

令和2年第3回片品村議会定例会（6月議会）を6月5日から12日までの8日間にわたり開催しました。執行部からは「一般会計補正予算」「繰越明許費繰越計算書の報告」「条例の制定及び一部改正」「専決処分の報告」等が提案され、議会からは議員発議を提出しました。予算説明会、各常任委員会を開催し全ての議案を全員賛成で可決しました。

令和2年度 6月補正予算

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計(第3号)	3,904,380	83,344	3,987,724

主な一般会計補正内容

(単位：千円)

歳入		
地方交付税	普通交付税	29,908
国庫支出金	子育て世帯臨時特例給付金	4,954
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対策等	55,515
	公立学校情報ネットワーク環境施設整備費等	22,437
県支出金	公立学校情報機器整備費	800
基金繰入金	財政調整基金繰入金	△41,850
諸収入	コミュニティ事業助成金	1,280
村債	学校教育施設等整備事業債	10,300
歳出		
総務費	庁舎管理費等	11,380
民生費	児童福祉扶助費等	5,430
商工費	観光施設整備・管理事業等	9,120
消防費	消防団運営費	1,026
教育費	公立学校情報ネットワーク環境施設整備費等	56,388

令和元年 一般会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
総務費	役場本庁舎耐震改修設計業務委託	5,847	5,874
農林水産業費	ダゴジ地区農業排水施設整備工事	49,703	14,300
	ダゴジ地区調査設計業務及び請負・出来高業務	1,122	1,122
土木費	細工屋橋橋梁補修・補強詳細設計委託	42,000	26,500
	三松橋橋脚基礎補修工事	13,500	13,500

専決処分の報告

★一般会計補正予算(第2号)

(単位：千円)

歳入		
国庫支出金	特別定額給付金 給付事業補助金	436,400
歳出		
総務費	特別定額給付金 給付事業	436,400

※片品村税条例の一部を改正する条例

**片品村条例の制定・一部改正**

- ◎特別職の職員で常勤のものとの給与の臨時特例に関する条例の制定
- ◎片品村の厳しい財政状況及び新型コロナウイルス感染症に対処する必要性に鑑み、一層の歳出削減に寄与するため、令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間においては、給与月額10%を減ずる。
- ◎議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定(議員発議)
- ◎新型コロナウイルス感染症に対処する必要性に鑑み、令和2年7月1日から令和3年3月31日までの間においては、報酬月額10%を減ずる。
- ◎片品村介護保険条例の一部改正
- ◎介護保険法施行令の一部改正がされたことに伴う、一部改正
- ◎花の駅片品の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ◎花の駅・片品「花咲の湯」の使用料金を変更するための、一部改正

陳情審議結果表

付託年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
令和2年 3月5日	若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情	前橋市樋越町 183-4 全日本年金者組合群馬本部 執行委員長代行 女屋 定俊 全日本年金者組合利根支部 支部長 林 マツ	総務文教 常任委員会	趣旨採択



村政を問う！

## 一般質問



星野 吉弥 議員

### 新型コロナウイルス感染症 支援策について

**問(1)** 新型コロナウイルス感染症支援策で、片品村民に対する村独自の支援策を講じましたが、項目ごとに件数・数量・金額等含めて伺いたい。

**答(村長)**

今回の新型コロナウイルス感染症の影響は、スキースキーの雪不足の影響から続き、非常に厳しいものであります。少しでも影響の緩和をはかるべく、迅速に対応することを考え、できることから支援策を講じてきました。

生活支援対策事業としての1万円分の商品券を、全村民

4,341人に給付させていた  
だきました。

さらに、5月の連休前には  
感染防止に役立てていただく  
ための、全村民への1人3枚  
約1万3,000枚のマスク配  
布を、職員が手分けで各家庭  
に直接届けました。

小口資金融資事業として、  
令和元年度分の小口資金の利  
子補給の引き上げ69件、さら  
に令和2年、運転資金として  
の借り入れ分については、本  
年度も含めて6年間の利子補  
給の引き上げを行い、令和2  
年度分として、40件、300万  
円を見込んでおります。

また、児童生徒への給食費  
支援事業として、新型コロナ  
ウイルス感染症の影響による  
休業中の登校日の給食、5月  
末までの約2,900食を、家  
事の負担軽減と児童生徒の栄  
養管理をはかるため無償提供  
としました。

また、国からの補助金を受  
けての、特別定額給付金も速  
やかに対応させていただき、  
すでに世帯で約98%、金額で  
約4億3,000万円の給付が  
されたところであります。

## テーマ

### 新型コロナウイルス感染症支援策

**問(2)** 村長は、今回の新型  
コロナウイルス感染症の各情  
報を、いち早く村内全世帯に  
対し配布チラシや防災無線で  
周知を行い、更には、片品村  
観光協会長としては協会会員  
全員に対し、一斉FAXや、  
自らのフェイスブックでの情  
報発信により細やかに周知を  
行いましたが、経済産業省の持  
続化給付金及び群馬県感染症  
対策事業継続支援金の各申請  
状況の業種別件数を伺いたい。

**答(村長)**

持続化給付金は片品村観光  
協会及び商工会で取り扱った  
件数は、5月22日現在、合計  
で54件となっており、業種別  
の内訳は、宿泊業39件、飲食  
業6件、卸売業1件、小売業  
3件、建設業4件、旅客運送  
業1件で、農業については、  
前年の収入との比較が可能と  
なる7月以降の申請になると  
思われます。

また、群馬県感染症対策事  
業継続支援金の申請状況につ  
いては、観光協会及び商工会  
で取り扱った件数では5月22

日現在、合計で約50件とのこ  
とであり、業種別は現在確認  
作業中で集計出来てない状況  
です。

いずれも申請期限がありま  
すので、今後も申請漏れがな  
いように、周知徹底を図って  
いきたいと考えております。

**問(3)** 群馬県は補正予算で、  
新型コロナウイルス感染症に  
よる外食産業の落ち込みによ  
る牛肉価格低迷の生産者支援  
として、5億円余りの補正予  
算により、群馬県産牛肉の学  
校給食への提供を本年度3回  
行うことを決めて実施する方  
向である。子供の食育教育の  
ためにも、今まで以上に学校  
給食センターでの当村食材の  
地産地消を推し進め、農業生  
産者支援をお願いしたいが、  
いかがでしょうか。

**答(教育長)**

給食にかかる賄材料費は受  
益者負担とし、今年度及び前  
年度ともに当初予算ベースで  
1,480万円を計上し、およ  
そ1食あたり200円程度で  
提供しております。

その中で、予算の範囲内で  
できる限り村内産、県内産及  
び国内産の食材を優先し納品  
していただくようお願いして  
きました。

この取り組みの結果、平成  
30年度の群馬県教育委員会の  
調査では県内産の賄材料の利  
用率が食材数ベースで、群馬  
県の平均が38%、利根沼田管  
内の平均が43.9%、片品村は  
50%で県内でも上位の結果で  
あります。

このほか給食に「片品の日」  
をもうけ、片品村振興公社や  
地元の農家から仕入れたトマ  
トやリンゴを使用したカレー、  
ブルーベリーを加工したジャム、  
とれたてのとうもろこし  
などを献立にとりいれ、JA  
片品支店から購入した新米を  
児童生徒に食べていただくな  
ど、郷土愛を育む取り組みも  
年間数回行っております。

今後ともこれまで以上に村内  
農産物等の活用を図って参り  
ます。

**問(4)** 今回、学校の長期休  
校により、今後の学校授業・  
教育のあり方及び生徒によっ  
ては心のケア等の問題を群馬  
県はもとより、各学校と相談  
し進めていかなければと考え  
ますが、いかがな考えかを伺  
いたい。

## 答(教育長)

小中学校の臨時休業中、児童生徒はプリント等を使用した自宅での学習を余儀なくされましたが、保護者の皆様にはそれぞれお持ちの仕事や家事を行う中で、大変長い期間自宅で学習する子ども達への対応をお願いすることとなりました。

そのご苦勞に對しまして、心から感謝を申し上げます。

また、学校の再開に当たりまして、自宅での学習期間が長かったことによる不安やストレスを抱えている子ども達もいると思いますので、心のケアについても、教育現場にいる教職員に對し、スクールカウンセラーの活用を含め最大限の支援と言動の注視をお願いしているところでです。

国では、児童生徒に對して端末一人1台の環境を整備するための「GIGAスクール構想事業」を複数年で実施する計画を進めておりましたが、今回のような臨時休業の際に活用できるような事業を前倒しして取り組むための補正予算を成立させ、本村でもその事業を実施するため補正予算と「GIGAスクール構想事業」が実施されるまでの緊急的措置として、現在学校で所有す

る情報通信機材を活用して対応するための補正予算を計上いたしました。

この事業により、今回のような自宅で学習をしなければならぬ事態が再び訪れた場合でも、群馬県教育委員会がインターネット上で配信する学習支援プログラムの活用や、教員が子ども達の顔を見て生活指導を行えるようになるなど、学習環境の改善が図られるものと考えております。

今後、限られた授業日数の中で効率的、効果的な学校運営を努めて参りますので、議員各位の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 高齢者福祉及び子育て支援策等併せて基幹産業への今後の取組について

問(1) 国から支給される臨時交付金等の活用で、高齢者がスマホ購入する際の村からの購入費の一部補助及び、生涯学習事業の一環として、少人数でのスマホ教室を開催を出来ないか伺いたい。併せて子供会育成会活動支援策として子育て世帯家庭への支援の充実をお願いしたいが、いかがでしょうか。

## テーマ

## 高齢者福祉及び子育て支援策等併せて基幹産業の今後の取組

## 答(村長)

交付金の対象事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を、特に必要と認められている地域経済や住民生活の支援に、必要と認められるものに限られており、現在、スマホを活用した住民支援の仕組みができていないため、スマホ購入の一部補助は、支援の仕組みづくりとあわせて検討が必要であると考えております。

また、高齢者向けのスマホ教室の開催については、昨年からの老人クラブでスマホ教室の実施について検討しておりますが、機種やサービス提供事業者により、使用方法が異なることや操作方法が複雑で、講師の依頼が困難なため、実施できていません。

教育委員会でいう生涯学習のプログラムとしても、同様の理由で検討が必要であると考えております。

子育て世帯家庭への臨時特別給付金につきましては、補正予算に計上いたしましたので、ご認定をいただき、速やかに給付できるように、進めてまいりますので、議員各位のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

## 問(2)

新型コロナウイルス感染症の影響は経済全体への影響が計り知れませんが、今後当村の基幹産業である農業と観光さらには、村民への支援施策等考えがあるかどうか伺いたい。

## 答(村長)

農業に關しましては、持続化給付金の交付対象となることから、村のホームページでも広く周知し、事業収入が大きく減った農業者の方に活用していただくよう案内している所であります。

片品村では、これから農繁期に入っていくことから今後の動向を見ながら関係者と一体となつて、片品村にあつた支援策を検討して行きたいと考えております。

観光につきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前から、小雪の影響も

あり、観光事業は多大な影響が続いています。先が見えない中で営業努力を続けている事業者にも、少しでも安心感を与えるための対策が、早急に必要だと考えます。

具体的には、SNSを利用した抽選方法による宿泊等の割引、学生の団体を対象としたバス料金、幹事等への補助などを検討していきたいと考えております。

また、県ですすめている県民宿泊補助「泊まつて！応援キャンペーン」や、国で実施する官民一体の「GOTOキャンペーン」に片品村独自で、村内施設で利用できるクーポンの付与の検討を考えております。

今後の村民へのさらなる支援策ですが、経済対策として、村内全世帯の水道基本料金、令和2年度第2期から第4期分までの減免と、尾瀬クリーンセンターで徴収している村内登録事業者の一般廃棄物処理手数料を6ヶ月間減免する措置が予定されております。

今後も国、県の施策の情報と動向を注視しながら、村民の生活を守るための支援策を進めてまいりたいと考えていますので、引き続きご協力をお願いいたします。





# 総務文教 常任委員会

## 協議事項

陳情について

### 【令和2年陳情第3号】

「若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める」陳情

### 意見

公的年金の財源に占める国庫負担の割合は現在2分の1になっていますが、少子高齢化により逼迫する年金財政を補うため、年金開始年齢を65歳から75歳にまで繰り下げられる年金改革法も過日国会で成立しています。この様な情勢下に於いて、更に国庫負担を増やす全額国庫負担の最低保障年金制度の創設は、国民への税負担も増大することが予想されることから、国全体の問題として、さらに議論する必要があるという意見であり、趣旨採択とする。

### 令和2年度

#### 補正予算について

**問** 小中学校のオンライン授業の関係について、内容はどうなっているのか。

### 答（教育長）

オンライン授業の関係の補正予算として計上させていただいているのは、小学校のWiFiの整備と中学校のWiFiの整備の工事費でございます。ソフトについては、群馬県で決定したものを使用する予定で、パソコンやタブレット等の端末と一緒に国の補助金を使って購入する予定です。



オンライン授業の様子

#### 所管事務について

**問** 近隣の徒歩通学の生徒を危険防止のため、スクールバスに乘車させられないか。

### 答（教育委員会事務局長）

昨年度から、希望者には小中学校ともに登校時は乗車で

きるように対応をしております。小学校発の中学校に行く便、中学校を経由して小学校に来る便を利用して対応しています。下校時につきましては、中学生の延長部活があった際に限り、時間が遅くなるというところで対応しています。

**問** 学校が休校している間のスクールバスの運行費用はどうなっているか。

### 答（教育委員会事務局長）

令和2年度から契約方法を見直しまして、月毎の運行日数が臨時休校や夏休みなどで変動が大きいため、年間の委託額を決定し、それを12等分して、毎月同額の委託料を支払うという形になっております。

### 答（村長）

契約を見直して、総額では前年度に比べ、約10%削減させていただいています。

**問** 役場庁舎内の清掃作業に機械化を導入して、作業を効率化する考えがあるか。

### 答（総務課長）

今現在、役場の庁舎内の日常的な清掃業務というのは、職員1名とパートタイム会計年度任用職員1名の計2名で行っています。本来の清掃作

業にコロナ対応の消毒作業などが加わり、業務量も多くなっていることから、予算の範囲内で掃除ロボットなども検討して、効率化していきたいと考えております。

**問** 旧サエラスキー場のコース跡地に大型太陽光発電のパネルを設置する工事を行っているが、完成後のその施設と土地に関する課税についてはどんなものか。

### 答（住民課長）

パネルについては、固定資産税（償却資産）ということになります。実際に通電して売電が始まって初めて課税になりますので、それを確認した上で課税していく予定です。土地については、パネルの工事が完成すれば、課税することが出来ますので、来年の課税に向けて、関係者の方と協議の上、進めていきたいと思っています。

（委員長 鹿野 一郎）





# 観光産業 常任委員会

## 協議事項

### 所管事務について

**問** 片品村に移住される方への移住支援についてと、WiFiやテレワーク又はオンライン会議等の、移住環境整備ができないか。

**答**（むらづくり観光課長）

東京23区に在住または通勤していた方が、群馬県に登録した企業とマッチングされるような状況になった方、または群馬県の起業支援金を受けた方で移住された方については、世帯100万円、または単身では60万円を限度で支給するという事業をやっています。WiFi等の環境については、使用する機材によつてデータの使用量や速度にも影響がありますので、それらを考慮しながら今後進めてまいりたいと思います。

**問** 道の駅、季節ごとに食材工夫できないか。お客様を飽きさせない日替わり・週替わり等の対策について。

**答**（むらづくり観光課長）

今回の補正予算の中に振興公社に、国の交付金を活用し

て道の駅等で販売する食事メニューの開発をお願いする予定になっています。委託内容の中に、日替わりや週替わりのお弁当ともあるので、それらを考慮してお願いしようと思っています。



道の駅「尾瀬かたしな」かたしな食堂

**問** 尾瀬の郷親善大使と交流会を図り、当村の情報発信を更に高めていただき、観光PR等村の活性化の一助をお願いできないか。

**答**（むらづくり観光課長）

今年度、当初予算でその関係をお願いしています。新型コロナウイルスの関係で、時期については、適切に開催ができる時期を考えています。48名の大使の方は県外の方が多いため、首都圏方面での開催を視野に、場所等を含めて

内容を詰めたいと思います。

**問** 武尊牧場クロスカントリーの冬季利用整備について、武尊山観光開発と協議し、指定管理者制度にしたかどうか。更に雪上車による、輸送手段を考慮したらどうか。

**答**（むらづくり観光課長）

冬季については、営業として除雪をして、コースの整備をするということは、今のところ想定していないというのが現状です。

今後は、例えば3月中旬とかになつて雪が少なくなつて除雪を簡単にできるような状態になれば、それ以降は整備等できると思います。利用者数の把握等調査しながら、検討していきたいと思っています。

**問** 鳥獣害箱わなにICT設備設置並びに利根郡下・県下一体となる駆除を進め効率化を高められないものか。

**答**（農林建設課長）

現在、沼田市の利根町においてI基、ICTの箱わなを設置していますが、頻繁に誤作動が生じて、あまり良い成果が上げられていない状況です。鳥獣害被害は片品村だけの問題ではありません。全国

各地において被害の発生を防ぐことが非常に難しく、深刻な問題となっております。引き続き、関係機関と連携し、地域の実情に合った支援事業等が活用できるように、被害対策に向けて、国を初め県へお願いしたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

**答**（農林建設課長）

補助申請数は毎年18台ぐらいです。電気柵の貸出しの関係は、今年度につきましては現在、村の保有台数30台中、16台の貸出しをしております。貸出時期につきましては現状の5月から4月に変更可能であります。

（委員長 星野 吉弥）





## 第2回臨時議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名											
			萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	星野栄二	北澤佳子	星野吉弥	千明勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	千明道太	飯塚美明
報告第2号	専決処分の報告	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	専決処分の報告	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の報告	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和2年度片品村一般会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第3回定例議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名											
			萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	星野栄二	北澤佳子	星野吉弥	千明勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	千明道太	飯塚美明
議案第28号	片品村介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	花の駅片品の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	専決処分の承認	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	専決処分の報告	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	令和元年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和2年度片品村一般会計補正予算(第3号)	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	特別職の職員で常勤のもの給与の臨時特例に関する条例の制定	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

※欠席議員は「-」で、議長は「\」で表示

## 提言書 提出

今年度開催予定の総務文教及び観光産業の各常任委員会の視察研修を中止して、そこに充てられていた予算を感染症対策事業費に使用してもらうことが記載された提言書を、6月5日の6月定例会の開催前に、星野議長から梅澤村長に手渡されました。



## ○アンケート調査のお願い

村民のみなさんにわかりやすく、開かれた議会づくりを目指すため、アンケート調査(A4両面印刷1枚)を実施しますのでご協力をお願いいたします。配布された封筒に入れて、8月末日までに、組長さんに渡していただきますよう、お願いいたします。



## 議会活動日誌

**4月**  
22日 議会運営委員会  
" 議会全員協議会  
" 第2回臨時会

**5月**  
21日 尾瀬山開き  
26日 議会運営委員会  
" 議会全員協議会  
" 議員会

**6月**  
2日 武尊山山開き  
5日 第3回議会定例会開会  
" 議会全員協議会（補正予算説明）  
" 議会改革特別委員会  
9日 観光産業常任委員会  
" 総務文教常任委員会  
12日 第3回議会定例会閉会  
" 議会広報編集特別委員会  
19日 片品村文化協会総会  
20日 日光白根山山開き

**7月**  
7日 国・県事業概要説明会  
" 議会と区長との懇談会

## かたしなフォトギャラリー



尾瀬山開き



武尊山山開き

発行 片品村議会  
責任者 星野 栄二  
編集 議会広報編集特別委員会  
印刷所 笠原印刷(有)

### ○傍聴のお知らせ

次回定例会は、9月3日（木）の予定です。

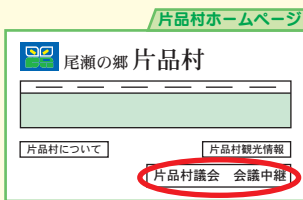
#### 9月議会を傍聴しませんか！

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答（全文）は片品村公式ホームページ（HP）の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

### ○議会録画中継について

片品村ホームページURL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

年4回の定例議会開会日の模様を動画（録画）配信していますので、是非ご覧ください。



#### 視聴方法

①片品村ホームページ  
トップ画面右側  
「片品村議会 会議中継」  
をクリック



②「会議名でさがす」「議員名でさがす」  
どちらかをクリック

### 議会広報編集特別委員会

委員長	萩原 和典
副委員長	後藤 眞平
委員	千明 道太
委員	千明 勉
委員	星野 吉弥
委員	鹿野 一郎

編集委員長 萩原 和典

昨年未だに発生した新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、本村でも大きな影響がでています。特にステイホームでの外出自粛により本村の基幹産業である観光産業は深刻です。6月19日に各都道府県からの往来規制が解除となり観光客も少しずつ動きはじめました。村内の小中学校も徐々に通常登校に戻りつつあります。またリモートワークやオンライン会議、ソーシャルディスタンスなど新たな生活様式も広まりました。片品村ではマスクの配布、商品券の支給等の対策を行いました。今後も必要な対策を講じていきます。このウイルス感染症が早期に終息し、夏から秋の観光シーズンに多くの観光客が片品村を訪れ通常の生活に戻ることを願います。

### 編集後記